

株式会社ニッピ本社新社屋

株式会社ニッピ本社新社屋の建築工事が着工しました。
 工事期間は、平成21年12月～平成22年12月までの約1年間で予定しています。
 外壁に花崗岩を用い、重厚感と趣のある建物となります。
 平成20年4月にまちづくりニュース第8号にて施設概要をお知らせいたしましたが、その後、基本設計の見直しを行い、以下のとおり施設の内容が変更になりました。

主な変更点

- 1) 階数・高さ 6階・約30m → 5階・約28m
- 2) 敷地面積 約5,400㎡ → 約5,000㎡
- 3) 延床面積 約8,500㎡ → 約6,500㎡



株式会社ニッピ本社新社屋 イメージ図

まちづくり連絡会の動き（平成21年度）

開催日	内容
第5回 景観検討部会 平成21年 5月19日	街区公園計画について
第6回 景観検討部会 平成21年 7月 2日	株式会社ニッピ本社計画、街区公園・駅前広場計画について
第7回 景観検討部会 平成21年 7月28日	街区公園・駅前広場計画について
第42回 連絡会 平成21年 8月 3日	役員名簿・会則、全体開発スケジュール、株式会社ニッピ本社計画、景観検討部会の報告について
第8回 景観検討部会 平成21年11月17日	公園設計・駅前広場計画について
第43回 連絡会 平成21年11月30日	株式会社ニッピ本社着工、道路工事スケジュール、景観検討部会の報告について
第44回 連絡会 平成22年 1月22日	まちづくりニュース10号（案）について

【問い合わせ先】

足立区都市整備部まちづくり課 千住大橋駅地区担当 後藤・齊藤
 TEL: 3880-5259 (直通) FAX: 3880-5605
 E-mail: kyoten@city.adachi.tokyo.jp

千住大橋駅周辺地区

まちづくりニュース

第10号

平成22年3月

開発拠点地区内の工事が着々と進んでいます。

株式会社ニッピ工場跡地の開発拠点地区では、解体工事・土壌浄化対策工事がほぼ終了し、道路整備工事や建物建設工事が着々と進んでおります。

開発拠点地区内計画図



主要区画道路1号



地区内を東西に走る主要区画道路1号が完成いたしました。今後、各街区内の建物建設に伴い、工事車両が通行します。



街路樹や街路灯も整備されました。

B街区



街区内の道路整備が終わり、建物建設が始まっています。

街区公園計画のコンセプトがまとまりました。

千住大橋駅周辺地区まちづくり連絡会景観検討部会を随時開催し、開発拠点地区内に整備予定の約5,000㎡の街区公園計画について、活発な意見交換を行い、検討を重ねてきました。
以下のとおりコンセプトがまとまりましたので、ご報告いたします。

公園を構成する3つの基本要素 ⇒ 公園計画への展開

公園を構成する要素を「緑」「憩い」「施設」と捉え、具体的な整備を検討していきます。

緑	<ul style="list-style-type: none"> 既存の雑木林の風景の継承 地域の人たちの記憶の継承としての既存樹の保全 雑木林の延長としての森と丘
憩い	<ul style="list-style-type: none"> 空の広がりを感じる開放的な空間の確保 街に住まう誰もが楽しめる場づくり
施設	<ul style="list-style-type: none"> 多様なニーズに応える施設の配慮 (こどもの遊び場、高齢者の健康増進等)

公園づくりのメインテーマ

ボリュームある森と丘の緑に包まれ、新旧住民がゆったりと過ごし、時にはコミュニティの活動拠点にもなる暮らしに根ざした公園づくりを行うため、景観検討部会の意見を踏まえて、公園づくりのメインテーマを次のように決めました

景観検討部会での意見

- まるで最初からそこにあったような自然の創出
- 盆踊りもできる広場
- 自然な感じのする芝生や草地
- 森と丘で自由に遊ぶ
- 自然の起伏、けものみち
- 既存樹の保全



メインテーマ

あたかも昔から
そこにあったような自然の創出

ゾーニング

「緑」「憩い」「施設」のキーワードから展開される整備イメージを実現するため、公園内の空間を以下の4つのゾーンに区分しました。
今後は、公園内の施設（遊具、休憩施設、付属施設）の詳細について検討していきます。

